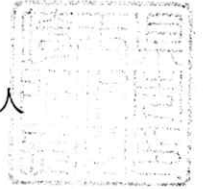


所企第 39 号  
平成30年7月12日

北関東防衛局長 吉田 廣太郎 様

所沢市長 藤本 正人



### FAC3049 所沢通信施設上空へのオスプレイの飛来について

平成30年7月11日午後6時05分頃、オスプレイ1機が所沢通信施設上空に飛来し、旋回したのを市職員が確認し、併せて市民から飛来の情報等が多く寄せられました。

オスプレイの所沢通信施設への飛来につきましては、7月2日に初めて確認されたところですが、それから10日も経たない間に再度飛来したこととなります。

市といたしましては、7月3日付で、貴局に対しまして、飛来及び着陸したことの目的、所沢通信施設への今後の飛来の可能性、オスプレイの運用に関する具体的な内容や安全性についての説明を求める要請書を提出いたしました。

過日、貴局より米軍からの回答として、訓練目的で所沢通信施設にCV-22オスプレイが飛来した旨の連絡があったものの、最大の関心事である今後の飛来の可能性に係る回答がないまま、再度所沢通信施設上空にオスプレイが飛来したことについて、誠に遺憾に感じております。

つきましては、今回の飛来について強い抗議の意を表するとともに、下記事項について早期回答を求めるとともに申し入れをするものです。

#### 記

- 1 平成30年7月11日午後6時05分頃、所沢通信施設にオスプレイが飛来した目的とその所属部隊は如何に。
- 2 オスプレイが今後も所沢通信施設に飛来することはあるのか。
- 3 所沢通信施設周辺は人口密集地域であり、8つの小中学校・高校と防衛医大病院などが在します。そのため、人口密集地域及び学校や病院などの上空を避けるとした、2012年9月の日米合同委員会合意事項を米軍は遵守し、最大限の安全対策と騒音問題に対する地元への配慮をお願いしたい。